

三好町では、心の通う対話の町政を進めていこうと、皆さまから町政に対する意見をいただく対話集会「皆さまと語る会」を開催しています。こうしたなか、昨年4月に町内25番目の行政区として誕生した、三好丘あおば行政区で「皆さまと語る会」が行われました。

今回は、語る会で皆さんから寄せられた「意見と町長の発言要旨」そして「皆さまの提言箱」などに寄せられた提言とそれに対する三好町としての考え方を抜粋で紹介いたします。

## 皆さまと語る会

◆三好丘あおば  
1月24日(土)開催 参加11人



三好丘あおば皆さまと語る会

ので、現在の交差点の形態は変わります。なお平成16年度に、交通指導員を1人増員し配置する予定です。

**住民** 黒世工業団地入り口の交差点の安全対策について、6年間におよそ10件の一時停止無視による事故が発生しました。平成14年度に交差点にガードレールが設置されましたが根本的な安全対策として、信号機の設置が必要と考えます。

**町長** 信号機の設置は、豊田警察署に要望することになっていきます。1年間に三好町内で設置できる信号機は、1、2カ所程度で信号機1基の設置費は数百万円程度必要であると聞いています。この交差点は、信号機の設置が必要な場所と考えますので、町として豊田警察署に設置の要望をしていきます。

**住民** 集会所の整備は、児童館機能を含めて整備していただきたいと思っています。

**町長** 三好丘あおば行政区の集会所へも三好

**住民** 三好丘あおば行政区の集会所建設について、現状および町の対応は。

**町長** 行政区集会所は、1行政区1カ所設置します。集会所建設用地は、すでに確保しており、面積はおよそ750㎡。設計費の補助金は、平成16年度の当初予算で考えています。なお集会所の完成は、平成17年度の予定です。

**住民** 三好丘あおば行政区専用のテントを整備していただけませんか。

**町長** 行政区名を記載したテントを、自主防災会の資材として平成16年度に整備します。

**住民** 三好丘駅西交差点の交通安全対策について、児童や生徒の通学路に歩道橋を設置し、交通指導員を配置してほしいのですが。

**町長** この道路は県道ですので、歩道橋の設置は県が管轄します。町としては、愛知県に対して要望していきます。現在の交差点は、交差点に接続される道路新設計画があります

## コラム column



連載第22回

### 未知なるものへの挑戦

本格的な春の訪れです。今年がわが町から世界に向けて発信する最大のイベント「2004年世界カヌーポロ選手権大会」が開催される年。7月21日から25日までの5日間にかけて熱戦が展開されます。

アジアで初めての開催地になる三好町。この未知なるものへの挑戦は、1998年にハンガリーのブダペスト市で開かれた世界カヌー連盟の総会で始まりました。この時、正式に三好町での大会の開催が決定されたのです。大会は、主催が国際カヌー連盟、主管が日本カヌー連盟、そして運営は、三好町実行委員会が行います。

世界カヌーポロ選手権大会は、2年ごとで開催されています。前回、2002年の開催地は、ドイツのエッセン市でした。三好町は、この大会に担当者を派遣。運営方法などをつぶさに調査し、開催に向けて万全な態勢を整えてきました。今まで計画的に準備を進め、施設整備の面では、後浮き棧橋などの修理をして本番に臨みます。

三好町は、10年にわたって、カヌーレー

シング競技の三好カップ国際レディースカヌー大会を開催。国際大会の経験を積んできました。しかし、参加国は10カ国未満、外国人選手も30人に満たない大会でした。世界カヌーポロ選手権大会には、25カ国から選手と役員を合わせて、およそ650人の参加が見込まれています。そのため、会場でのセキュリティ、宿泊地、通訳など国際レディースカヌー大会とは比較にならないほど課題がたくさんありました。

カヌーポロ競技の盛んなヨーロッパ諸国であれば陸続きであり、言葉や移動、宿泊地などの問題も島国である日本とは比較にならないほど少なかったのではと思われま

す。ドイツ大会のときには、多くの国の皆さんが大型のキャンピングカーで参加していたと聞きました。

大会成功への道のりは、決して甘くはありませんが、開催する以上は何としても成功させなくてはなりません。現在までに、100人を超えるボランティアの申し込みをいただき、出場国の応援団とホームビジットも募集しています。多くの人たちのご協力をいただければと思っています。もちろん、試合当日に応援にお越しいただくことも大会を盛り上げる大切なことです。

町をあげての一大イベントです。皆さんのご支援とご協力をお願いします。

三好町長 三好 知英

丘地区の各集会所(複合施設)と同様に、児童厚生員を配置する予定です。また都市基盤整備公団の事務所を改修し整備する三好丘交流センターに、平成16年4月から定員30人程度の放課後児童クラブを開所します。

**住民** 愛知池を散策するときのための駐車場を三好町内に整備することを希望します。

**町長** 愛知池に接する三好町内の土地は、非常に限られているので駐車場の設置は困難と考えます。東郷町の愛知池運動公園グラウンドの駐車場などを使用させていただく方法も考えられますので、調査・確認します。

**住民** 三好町の男女共同参画社会のソフト面の取り組みはどのようなものがありますか。

**町長** 男女共同参画社会の取り組みの一つに、三好町女性団体連絡協議会があります。この協議会には、すべてではありませんが、各行政区で組織された女性団体が参加しています。また要件を満たす団体に対しては、支援をしていますので、三好丘あおば行政区としても女性団体を組織して、三好町女性団体連絡協議会にぜひ加入して下さい。

## 皆さまの提言箱

**意見** 旭グラウンド近くの三戸公園の木製ベンチのとげが手のひらに刺さり痛い思いをしました。またこのベンチは以前、火を付けられ、一部が焼けていて危険です。早急に対応していただきたいと思っています。(提言箱)

**答え** ご迷惑をお掛けして申し訳ありませんでした。応急修繕を行うとともに、材料を手配。後日、完全に修繕しました。

(都市計画課)

## 皆さまからのご提言をお待ちしています

三好町では、心の通う対話の町政を進めていこうと、町政に対する皆さまからの提言をいただくため「皆さまの提言箱」を設けています。

▶設置場所=役場、サンネット、サンアート、町民病院、総合体育館、中央図書館

※提言は「皆さまの提言箱」のほか、下記のいずれかの方法でも受け付けています。

①電子メール…teigen@town.miyoshi.aichi.jp  
②ファクス…(32) 2165  
③郵便…〒470-0295 三好町役場広報情報課あて(住所不要)

広報情報課 ☎(32) 8357



## ●●●提言についてお願い●●●

三好町では「心の通う対話の町政」を進めていこうと、町政に対する皆さまからの提言をいただくため、役場、サンネット、サンアート、町民病院、総合体育館、中央図書館の6施設に「皆さまの提言箱」を設けています。このほかにも電子メールやファクス、郵便などさまざまな方法で、多くの皆さまから提言をいただいています。

皆さまからいただいた提言は、町全体に対する提言としてとらえ、広報を通して紹介していますので、個別の回答はしません。これからも町民の皆さまの生活にかかわる提言を中心に掲載していきますので、皆さまの提言をお待ちしています。

なお提言をいただく際には、提言に対して責任を持っていただくためにも、ご自分の住所、氏名は必ず明記していただくようお願いします。(広報でのお名前の公表はしません) また質問やお問い合わせは、各担当課あてにお願いします。